



CONTENTS

- * 新室員ご挨拶
- * ランチタイム カモミール・カフェ
- * 室員インタビュー
- * カモミール月曆
- ～サイエンス夢追い人育成プロジェクト～
- * 保育園たより

新室員ご挨拶

興戸 律子 教育学部附属学習協創開発研究センター 助教

今年度より男女共同参画推進室の室員を拝命いたしました。私自身は、育児休業もない時代でしたので、家族の協力、職場の理解を得て続けることができました。さらに働きやすい職場環境となることを願い、微力ですがお手伝いさせていただきます。よろしくお願いいたします。

魚住 郁子 医学部看護学科 准教授

4月より、男女共同参画室室員を務めさせていただくことになりました。私自身、看護の仕事をしてながら、2人の子供を育て一息ついたと思いきや、現在は同居の実母の介護に日夜忙しくしております。職場の理解をいただいてなんとか、仕事と介護を両立しております。高齢社会を迎え、様々な状況の中ですべての人がイキイキと仕事ができるよう、微力ながらお手伝いできれば幸いです。よろしくお願いいたします。

古山 浩子 工学部化学・生命工学科 准教授

4月から男女共同参画室の室員を拝命いたしました。これまで教育研究活動だけに従事してきましたが、今回、懐妊したことからはじめて本推進室の取り組みに関心を抱きました。林室長および室員の先生からご教授をいただき、微力ながら役目を果たしたい所存です。

落合 絵美 男女共同参画推進室 特任助教（コーディネーター）

4月より男女共同参画推進室の特任助教として着任しました。学生、教職員ほか岐阜大学に関わる皆様にとって有意義な事業を展開していきたいと思っておりますので、ご意見・お問い合わせなどいつでもお寄せください。男女共同参画推進室（カモミール・カフェ）でお待ちしています！

上田 浩司 人材開発部長

本年4月1日付で人材開発部長を拝命しました。前職は大阪教育大学で総務部長をしておりました。歴史と伝統ある岐阜大学で勤務できることを非常に光栄に思っております。林室長及び室員の方々のご指導を賜りつつ、本学の男女共同参画推進に取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

カモミール月曆 (室長からのメッセージ)



副学長（多様な人材活力推進担当） 林 正子

「かもみーる通信」93号（2018年3月）において、「**多様な人材参画推進室**」設置をはじめ工学部の多様な人材活力推進に係る精力的な活動についてご紹介しましたところ、相次ぐ朗報として入ってきましたのが、**妊娠中の女性研究者を対象**とする「**研究補助員配置制度実施要項**」（2018年4月18日 工学部長裁定）が工学部で独自に制定され、運用が開始されたとのニュースです。

女性限定公募も積極的に実施し女性研究者の活躍を促進している工学部の「研究補助員配置制度」では、「**研究補助員を配置することができる期間は、妊娠中の期間**（産前休暇中を除く。）とし、原則として**週20時間未満**とする。」「**希望する支援期間の2週間前までに**、研究補助員制度利用申請書（別紙様式1）を学部長に申請するものとする。」というように、想定・計画通りにはゆかない「妊娠」という状況下にある研究者に対して、可能な限りの便宜を図り、手厚い支援をおこなっていることがうかがえます。

これまで岐阜大学では、**男女共同参画推進室**の取り組みとして、育児や介護等と研究との両立支援および研究補助員（研究支援者）のチャレンジ支援・再チャレンジ支援に寄与することを目的として、「**研究補助員配置制度**」

<https://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/activity/O5.html>

を運用してきました。2014年度からは、申請資格条件を満たす女性研究者のみならず男性研究者の方々にもご利用いただける制度となっています。

具体的には、**育児や介護等により研究時間の確保が困難な研究者の方々を対象**に、研究データ解析、学会発表資料作成、実験補助、文献調査、統計処理等の研究補助業務をおこなう研究補助員を配置し、**育児や介護等と研究との両立を支援**することを目的としています。また次世代育成のために、研究支援者と被支援者双方の**キャリア形成、キャリア復帰等のチャレンジ支援・再チャレンジ支援**に寄与することを趣旨としています。

また、「かもみーる通信」74号（2016年8月）「カモミール月曆」欄でご紹介しましたように、**各部局において育児休業等により欠員が生じた場合**、運営上、さまざまな支障をきたす恐れがあるとともに、産休・育児休業中の職員が業務（自宅からの指示を含む）に従事することは、労働基準法や特別休暇の趣旨にも反することから、**当該部局に対する本部の対応**として、次のような支援策が講じられています。

産前産後休暇中の職員には給与（100%）が支給されるが、当該部局では減員となること、職員就業規則において当該期間中の代替職員（常勤）の雇用が認められていることから、人件費相当額を配分するのではなく、**代替職員等の人件費を本部経費で負担**するかたちで、部局への支援をおこなう。

部局において、育児休業等（産休を含む）により減員が生じた場合、当該職員の人件費の範囲内で、

①代替職員（常勤） ②非常勤講師（みなし代替職員） ③非常勤職員（学術研究補佐員、技術補佐員、技能補佐員）（みなし代替職員） いずれかの雇用により支援する（併用は原則として不可。場合によっては、②と③の併用可）。

以上のように、「男女共同参画推進室 研究補助員配置制度」も「教育職員が育児休業等を取得する際の当該部局への支援」についても、予算運用の都合上、付帯条件をなくすことは容易ではありませんが、**岐阜大学の多様な人材の活力発揮に向けて**、さまざまの方策が講じられているところです。今回、工学部の画期的な取り組みをご紹介することで、当該課題に対する構成員お一人おひとりの一層のご理解やご協力が得られれば幸いです。「**働きやすく学びやすい大学**」をめざして、引き続き、皆様のご支援ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

ランチタイム カモミール・カフェ

サイエンス夢追い人育成プロジェクト
(女子大学院生による出前講義) 説明会

4月25日(水)に男女共同参画推進室(カモミール・カフェ)にて「サイエンス夢追い人育成プロジェクト(女子大学院生による出前講義)」説明会を開催しました!

説明会では、男女共同参画推進室の落合絵美コーディネーターが出前講義の趣旨や内容について説明したあと、参加者と意見交換をおこないました。参加者からは、「研究室の先輩から『楽しいよ!』と聞いたので私もやってみたい」「塾で講師をしているけれど、自分の研究についても高校生の前で講義してみたい」などの声が寄せられました。今年度もすでに岐阜県内の高校から続々と出前講義への依頼が舞い込んでいます(例:長良高校、大垣工業高校など)。あなたも出前講義の講師になってみませんか? 講義の準備は教員がサポートします! 今後は出前講義登録者向けの交流イベントも開催していく予定です。こちらにも奮ってご参加ください。

ランチタイム カモミール・カフェ

—出前講義講習会のお知らせ—

日にち: 5月15日(火)

時間: 12:10~12:50

場所: カモミール・カフェ

(大学会館2F 生協中央店前)

昼食をご持参
ください♪

みなさまのご参加をお待ちしています。

岐阜大学
サイエンス夢追い人育成プロジェクト
(女子大学院生による出前講義)
女子大学院生募集

サイエンス夢追い人育成プロジェクトは、女性研究者の裾野拡大を目的に、女子大学院生が県内の小・中・高校に赴き、これまでの進路選択における経験や研究内容について講義を行います。

現在、参加メンバーを募集しています。皆様からのご応募をお待ちしております。

まずは話だけ...という方も、お気軽にご連絡ください。

参加するメリット

- ✓ コミュニケーション能力が向上する
- ✓ プレゼンテーション能力が向上する
- ✓ 自分の研究の社会的意義を再認識できる
- ✓ 教育経験を通して空想の輪が広がる
- ✓ 市内の研究生とのネットワークが広がる

教育経験を通して、自身のスキルアップを目指しませんか、
興味深きは男女共同参画推進室のスタッフがお待ちします。

申し込み方法
所属、氏名、連絡先を、メールまたは電話にて、
男女共同参画推進室までお知らせください。

申し込み
お問い合わせ
岐阜大学 男女共同参画推進室
TEL: 058-253-3397 E-mail: sankaku@gifu-u.ac.jp
URL: <http://www1.gifu-u.ac.jp/sankaku>

5月15日(火)のお昼休みに出前講義登録者向けの講習会を開催します。講師は教育学部理科教育講座の中村琢先生です。中高生を前に講義する際のコツや注意点などについて教えていただく予定です。出前講義の登録者や出前講義に関心がある人だけでなく、「中高生に講義する際のコツが知りたい!」という方のご参加も歓迎します!

お弁当を食べながらご参加いただけますので、お気軽に男女共同参画推進室(カモミール・カフェ)へお越しください。

お問い合わせ: 内線 3397 sankaku@gifu-u.ac.jp

【出前講義ってなに?】

男女共同参画推進室では、女性研究者の裾野拡大を目的として、岐阜大学の女子大学院生が県内の小・中・高等学校に赴き、自身の研究やこれまでの進路選択の経緯について講義をおこなう「サイエンス夢追い人育成プロジェクト(女子大学院生による出前講義)」を実施しています。日本における女性研究者比率は先進諸国と比べて低く、なかでも自然科学分野においてその傾向が顕著です。岐阜大学でも女性研究者比率の向上に向けた取り組みを展開しており、出前講義はそのひとつです。そのため、本事業において講師として登録できるのは【岐阜大学に在籍する女子大学院生】に限定しています。

室員インタビュー



「思い込みから自由になること」 医学部看護学科 魚住 郁子 准教授

「室員インタビュー」第1回は、4月から室員に加わってくださった魚住郁子先生に、仕事と生活の調和（葛藤）についてコーディネーターの落合絵美がお話を伺いました。

病院で看護師長などを長年務めた後に「より質の高い看護教育を」との思いから教員としてのキャリアをスタートされた魚住先生。現在は、看護師の抱えるストレスと就業継続の関係について調査・研究しています。

岐阜大に着任して今年で3年目。同居する母親の介護をしながら教育・研究する毎日はまさに「息づく暇もない」ほどの忙しさですが、周囲の人々の理解や支援、そして学生の頑張る姿に勇気づけられる毎日です。

2018年1月に岐阜大学と共同実施機関が開催した「仕事と介護の両立支援セミナー」に参加し、介護を抱えながら働く岐阜大の仲間と交流できたことで「憑き物が落ちた」ように介護サービスを利用することへの罪悪感から解放されたとのこと。そして、仕事と育児や介護を両立するためには「完璧主義を捨てる」ことも大切だと語ってくれました。



【魚住先生からのメッセージ】

「仕事って楽しいですよ。継続しないと見えてこない世界があります。『何とかなる』と思って前向きに『辞めないための方法』を探してみてください。」

【魚住先生の「あったらいいな」】

岐阜大学の教職員や学生が仕事や学生生活、育児・介護などについて情報交換できる交流会

保育園たより



岐阜大学保育園には毎月楽しいイベントがあります。きれいな桜を観察しながらのお散歩、お天気がいい日には砂場で外遊び、外に出られない日でもマットで室内遊び、4/17にはお話し会もおこなわれました！

